

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P170261	クラス名	松永研究室
担当教員名	松永 多苗子		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究として希望する専門分野の担当教員クラスを履修すること。 各自で設定した研究目標に向かって取り組みます。自発的に行動し、その結果を振り返り、フィードバックをかけることを常に心がけてください。正課外でも積極的に取り組むことを推奨します。 3D CAD応用【松永クラス】を履修することを推奨します。		
教科書	適宜指示します。		
参考文献及び指定図書	適宜指示します。		
関連科目	研究ゼミナールA, 3D CAD応用【松永クラス】, 情報システム回路		

○基本情報		
授業の目的	研究ゼミナールは、「これまでに学んできた知識や技術、養ってきた思考力、創造力をさらに磨きあげ、社会で活かせる実践力を身につける」ことを目的とした「卒業研究」の前段階に位置し、「情報技術者として企業活動に従事するに足るだけの専門知識の獲得」、「自らの考えを伝達するための表現力の習得」、「進化し続ける情報化社会に対する高い関心の保持」を目的とした科目です。今日の社会において利活用が進められているAI関連の技術についても理解を深めます。 後期の研究ゼミナールBでは、対象とする研究領域を絞り込み、より深く専門知識や技術を習得することを目指します。また、研究テーマを絞り込み、その背景や位置づけ、独自性を考えられる素地を築きます。研究テーマには「数理・データサイエンス・AI」に関する分野が含まれます。	
授業の概要	本授業では、一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究に取り組みます。 定期的に、調査・実施内容や進捗状況・課題等を簡潔にまとめて発表することで、人に伝える技術を鍛えるとともに、他者とコミュニケーションをとりながら、自分の考えを振り返りより深く思考していく態度を身につけていきます。また、他者の発表内容の要点を理解し質問できる力や、技術的内容に関するディスカッションができる力を養います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	松永多苗子 情報工学分野において、企業*における研究・開発実績がある。 * (株)富士通研究所(19年) (株)ロジック・リサーチ(2.5年)	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	進化する情報技術に対して高い関心を持ち、自らのテーマに対して、より深く情報を収集・学習し、計画を進めていくことができる。			10点
【知識・理解】	研究を進める上で必要な専門的な知識を理解できる。		15点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	①技術的報告書を作成することができる。 ②技術的な内容のプレゼンテーションを行い、ディスカッションすることができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	①自らの研究内容の客観的な位置づけを把握できる。 ②取り組んだ内容に対する考察の中に、オリジナリティがある。		15点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
研究に対する取り組み姿勢(10点)、期末発表(45点)、および、期末レポート(45点)で評価します。 到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を十分に満たしている。(成績評価基準点の合計が90点以上) [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(成績評価基準点の合計が80点～89点) [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(成績評価基準点の合計が70点～79点) [Cレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。(成績評価基準点の合計が60点～69点) 報告事項へのフィードバックは、次週の授業で行います。 発表に対する講評はその場で、期末レポートの講評は第16週(第31回)において行います。

○その他
期末発表および期末報告書の評価基準の詳細は、第12週(第24回)の講義で提示します。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)	授業コード	P170261
	担当教員	松永 多苗子		
学修内容				
1. 全体説明と研究計画 本科目の進め方について説明します。 前期の振り返りを行い、各自で集中して取り組む分野の検討を行います。後				
予習		これまでの活動内容の整理	約2時間	
復習		後期の研究計画書の作成	約2時間	
2. 全体説明と研究計画 研究テーマに関するディスカッションを行い、その結果を踏まえながら各自で集中して取り組む分野を決めます。テーマが近い場合はグループで活動することも考慮します。 各テーマごとに、後期の研究計画を立てます。				
予習		これまでの活動内容の整理	約2時間	
復習		後期の研究計画書の作成	約2時間	
3. 調査・研究①-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の確認	約2時間	
4. 調査・研究①-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の報告	約2時間	
5. 調査・研究②-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の確認	約4時間	
6. 調査・研究②-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の報告	約2時間	
7. 調査・研究③-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の確認	約2時間	
8. 調査・研究③-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		進捗報告会①用資料作成	約2時間	

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)	授業コード	P170261
	担当教員	松永 多苗子		
学修内容				
9. 進捗報告会①-1 計画の進捗と、取り組んでいる内容についての報告を行います。質疑を通して現状を再確認し、今後の計画遂行に対してフィードバックをかけ、報告書としてまとめます。				
予習		発表準備	約2時間	
復習		報告書の作成	約2時間	
10. 進捗報告会①-2 計画の進捗と、取り組んでいる内容についての報告を行います。s質疑を通して現状を再確認し、今後の計画遂行に対してフィードバックをかけ、報告書としてまとめます。				
予習		発表準備	約2時間	
復習		報告書の作成	約2時間	
11. 調査・研究④-1 進捗報告書に対するフィードバックを行います。 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		チェック済み報告書の確認、実施内容の確認	約2時間	
12. 調査・研究④-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の報告	約2時間	
13. 調査・研究⑤-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の確認	約2時間	
14. 調査・研究⑤-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の報告	約2時間	
15. 調査・研究⑥-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		実施内容の確認	約4時間	
16. 調査・研究⑥-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習	約2時間	
復習		進捗報告会②用資料作成	約2時間	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	P170261
	担当教員	松永 多苗子		
学修内容				
17. 進捗報告会②-1 計画の進捗と、取り組んでいる内容についての報告を行います。s質疑を通して現状を再確認し、今後の計画遂行に対してフィードバックをかけ、報告書としてまとめます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		報告書の作成		約2時間
18. 進捗報告会②-2 計画の進捗と、取り組んでいる内容についての報告を行います。s質疑を通して現状を再確認し、今後の計画遂行に対してフィードバックをかけ、報告書としてまとめます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		報告書の作成		約2時間
19. 卒研発表会参加 卒研発表会に参加し、自分のテーマと関連する発表や興味をもった発表についてまとめ、考察を行います。				
予習		卒研発表テーマ・概要の確認		約2時間
復習		卒研発表会聴講内容のまとめ（資料作成）		約2時間
20. 卒研発表会参加 卒研発表会に参加し、自分のテーマと関連する発表や興味をもった発表についてまとめ、考察を行います。				
予習		卒研発表テーマ・概要の確認		約2時間
復習		卒研発表会聴講内容のまとめ（資料作成）		約2時間
21. 調査・研究⑦-1 卒研発表会聴講内容のまとめに対するフィードバックを行います。 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		チェック済み報告書の確認、実施内容の確認		約2時間
22. 調査・研究⑦-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		実施内容の報告		約2時間
23. 調査・研究⑧-1 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		実施内容の確認		約2時間
24. 調査・研究⑧-2 計画に従って実施します。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		ポスター発表内容の整理		約2時間

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	P170261
	担当教員	松永 多苗子		
学修内容				
25. ポスター発表 研究室紹介に合わせて、各自の研究内容を1～2年生に対して発表します。 質疑内容やコメントはすべて記録しておきます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		質問された内容のまとめと今後の計画へのフィードバック（資料作成）		約2時間
26. ポスター発表 研究室紹介に合わせて、各自の研究内容を1～2年生に対して発表します。 質疑内容やコメントはすべて記録しておきます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		質問された内容のまとめと今後の計画へのフィードバック（資料作成）		約2時間
27. ポスター発表 / 研究総括 研究室紹介に合わせて、各自の研究内容を1～2年生に対して発表します。 これまでの活動内容を整理し、期末発表会の準備をします。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		発表資料の作成		約2時間
28. ポスター発表 / 研究総括 研究室紹介に合わせて、各自の研究内容を1～2年生に対して発表します。 これまでの活動内容を整理し、期末発表会の準備をします。				
予習		研究遂行に必要な知識の学習		約2時間
復習		発表資料の完成		約2時間
29. 期末発表 取り組んできた内容、および、今度の展望について発表し、ディスカッションを行います。発表に対するコメントも踏まえ、実施内容を技術報告書としてまとめます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		期末報告書の作成		約2時間
30. 期末発表 取り組んできた内容、および、今度の展望について発表し、ディスカッションを行います。発表に対するコメントも踏まえ、実施内容を技術報告書としてまとめます。				
予習		発表準備		約2時間
復習		期末報告書の作成		約2時間
31. 振り返り 期末報告書の講評を行い、今後の研究の方向性についての確認を行います。				
予習				
復習		期末報告書のブラッシュアップ		約2時間
32.				
予習				
復習				